

新庁舎での業務開始は4月3日から



各課配置と電話番号はP2・P3

- ◆役場新庁舎の各課配置はこうなります
- ◆村民の創作した作品を一堂に展示
- ◆むらの話題

寒さも吹き飛ばし元気に豆まき 他



村のひと(1月末日)

男 4,898人 (-2)
女 4,713人 (-6)
計 9,611人 (-8)
世帯数 3,292世帯 (-1)

青と緑の豊かな活力ある村

キャンプ中の中日ドラゴンズ選手会が村へ寄附

村内のホテルに宿泊しながら春季キャンプを行っている中日ドラゴンズ選手会の立浪選手会長含む役員等が2月21日、大城村長を表敬訪問し、恩納村の子ども達のために役立てて下さいと金一封の寄附がありました。

贈呈式には、村三役と教育長が同席し、立浪会長から寄附金を受け取った大城村長は、村育英基金として村の子ども達のため有効に使わせていただきますとお礼を述べ、今年も優勝を目指して頑張ってくださいと泡盛もプレゼントされました。



石川警察署から村内2団体と個人4名に感謝状

石川警察署の当真副署長は、平成11年度地区交通安全の推進に功績のあった団体並びに個人に対して2月18日、感謝状の贈呈式が同署内で開催され本村から2団体と個人4名が当真署長から感謝状を贈呈されました。



平成11年度石川警察署長感謝贈呈者一覧
 団体 恩納村老人クラブ連合会(会長 仲本克一)
 個人タクシー山田温泉会
 個人 具志堅美代子(村婦人会長)
 比嘉佑邦(仲泊校校長)
 當山朝督(交通安全モニター修了者)
 大城保篤(村交通安全担当者)

善意ありがとう

恩納村育英基金へ

◆當 眞 ウト(瀬良垣5233) 100,000
 ◆中日ドラゴンズ選手会 500,000
 恩納村社会福祉協議会へ
 ◆当 山 幸 輝(香典返し) 100,000

◆島 袋 知一郎(香典返し) 20,000
 ◆屋 宜 盛 孝(香典返し) 100,000
 ◆泉 川 きよ子(香典返し) 100,000
 ◆上 間 正 男(香典返し) 100,000
 ◆なかむらそば(一般寄附) 12,000
 ◆恩納村電設会(一般寄附) 50,000

◆平成11年度恩納村(幼稚園・小学校・中学校)卒業式日程◆

お
め
で
と
う

	幼稚園	小学校	中学校
安富祖	3月18日(土)	3月15日(水)	3月15日(水)
喜瀬武原	3月18日(土)	3月15日(水)	3月15日(水)
恩納	3月18日(土)	3月23日(木)	3月15日(水)
仲泊	3月18日(土)	3月23日(木)	3月15日(水)
山田	3月18日(土)	3月23日(木)	3月15日(水)

初等学校の卒業予定者は
 ★幼稚園 78名
 ★小学校 127名
 ★中学校 153名

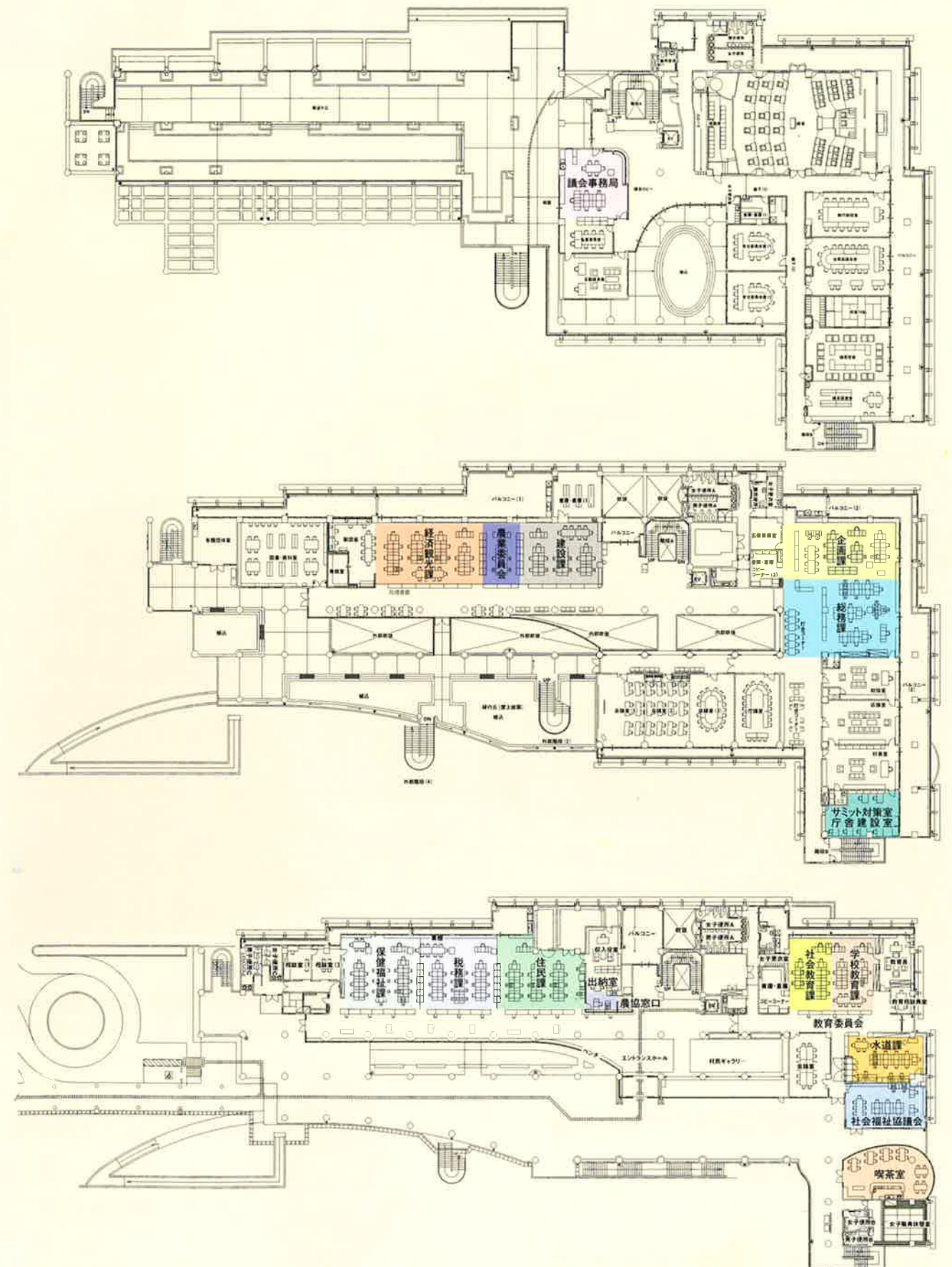
入学式

4月7日(金)・・・安富祖小中・喜瀬武原小中・恩納中・仲泊中・山田中
 4月10日(月)・・・恩納小・仲泊小・山田小
 4月11日(火)・・・安富祖幼・喜瀬武原幼・恩納幼・仲泊幼・山田幼(入園式)
 入学予定者数は、幼稚園99名・小学校86名・中学校126名となっております。

新庁舎での業務開始 / 4月3日から

役場新庁舎での各課配置はこうなります。

新庁舎落成式 / 3月27日 村民へのお披露目 / 3月28日～29日



B1

B2



B1

↓
公用車専用駐車場、ポンプ室、
消化ポンプ室等

B2

↓
一般車専用駐車場、男子職員
休憩室、倉庫、書庫等

① 恩納村役場新庁舎電話番号等一覧表 ②

階数	課名等	電話番号
3階	議会事務局	☎966-1199
2階	総務課	☎966-1200
	企画課	☎966-1201
	経済観光課	☎966-1202
	建設課	☎966-1203
	農業委員会	☎966-1204
	サミット対策室 庁舎建設室	☎966-1190

FAX番号

恩納村役場代表FAX
総務課 ☎966-2779

経済観光課 ☎966-2265
建設課 ☎966-1045

階数	課名等	電話番号
1階	住民課	☎966-1205
	税務課	☎966-1206
	保健福祉課	☎966-1207
	出納室	☎966-1208
	学校教育課	☎966-1209
	社会教育課	☎966-1210
	水道課	☎966-1198
	社会福祉協議会	☎966-1193
	喫茶室	☎966-1191
	農協窓口	☎966-1192

FAX番号

住民課 ☎966-8089
教育委員会 ☎966-8478
水道課 ☎966-8086
社会福祉協議会 ☎966-8043



村民の創作した

作品を一堂に展示



▲手工芸の部の展示



▲絵画の部の作品



▲陶芸の部の作品



会場の入り口正面に華道部から出品の松・竹・桜等を使った大作が目引きました。また、今回は特別展示では恩納区の眞嗣朗さんのイラストの展示も合わせて行なわれました。文化展には、展示期間中村民を中心に多くの皆さんが会場を訪れ村民らの創作した作品を一点一点鑑賞していました。



▲展示会場には多くの村民が訪れました



▲会場で人目を引いた華道の合作



▲特別展示の眞嗣朗さんの作品



▲2月18日に行われた関係者によるオープニングテープカット



▲第8回の文化展開催を喜ぶ喜納会長

日頃から創作活動に励んでいる村民の作品を一堂に展示し、創作意欲を高め、村民の文化振興を図ろうと、村文化協会（喜納福常会長）主催による、第八回恩納村文化展が一月二十八日から三十日までの三日間、村コミュニティセンターで開催されました。

第八回村文化展には、絵画や彫刻など十部門から高校生以上で村内に在住あるいは、在職者から約二百点が出品され会場に展示されました。文化展初日の二十八日に行なわれたオープニングセレモニーで村文化協会の喜納福常会長は、「作品の鑑賞を通して、村民が芸術文化活動に対する理解と感心を高めていただきたい」と主催者あいさつがありました。また大城村長からは、「村民の皆様が芸術文化を創造していく機会にしていただくことを期待します。」と関係者に激励のあいさつが述べられ、関係者によるテープカットで三日間の展示会がはじまりました。

第八回恩納村文化展



▲初春を祝う華道の展示

一人暮らしのお年寄りらに花のプレゼント

山田中学校生徒会ボランティア活動



山田中学校生徒会では、区内で一人暮らしの老人らに三学期に入って生徒や職員らの協力で種から大切に育ててきたインパチの花を二月中旬から下旬にかけてプレゼントしました。

同校では、これまでに一人暮らしの老人に敬老の日のお祝いの葉書や年賀状を贈っており、今回の花のプレゼントは同じ地域内に住む生徒達が生徒指導の担当教諭と一緒に、校区内の区長さんにも協力していただき、これまで大事に育ててきた花を放課後を利用して届けました。

生徒指導の担当教諭は、地元で一人暮らしの方々との交流できるいい機会になりますと話していました。また、花を届ける際には恥ずかしが



▲地元生徒が訪問しプレゼント

りながらも一人一人自己紹介をしながら花をプレゼントしていました。

生徒から花をプレゼントされたお年寄りらは思いがけない贈り物に笑顔で喜んでいました。

《こころの健康》

こんにちは保健婦・保健士です！

〈疲れたら、つくる「こころの休養日」〉をキャッチフレーズに平成12年3月15日～21日までを「沖縄県こころの健康づくり週間」となっています。

近年社会生活環境の複雑化のより様々な精神的ストレスが増加しており、そのことは心身症や生活習慣の発病にもつながりかねません。今回はタイプ別ストレスのチェックとその解消法をいくつか紹介していきたいと思ひます。

【体調不良型チェック】

- 首や肩がひどく凝る
- 頭痛がする
- 夜眠れない、眠りが浅い
- 胃がむかつく、痛い
- 手足が冷えやすい
- 朝の通勤時によく下痢をする
- 食欲がない
- 性欲がない



慢性時なストレスが痛みなどの症状として現れるタイプ

【憂うつ型チェック】

- 誰かといても孤独感がある
- 何をしてても楽しくない
- 物事が決断できない
- 人づき合いが上手くいかない
- 心配事が心を離れない
- 仕事や家事の能率が下がった
- 将来に希望が持てない
- 自分に自信が持てない



自己否定感がとても強いタイプ。

【イライラ型チェック】

- 落ち着きがなくじっとしていられない
- 常に緊張している
- 少しのことでカッとなりやすい
- 思うようにならないことが多い
- 人から指示されるのが嫌い
- 人の噂がとんでも気になる
- よく衝動買いをする
- つい人や物にあたってしまう



内面の葛藤がストレートに感情表現に現れるタイプ。

《ストレス解消法》

体調不良型

病院に行っても気のせいといわれるタイプ。気合いで乗り切るのはなく、バスタイムの充実、十分な睡眠、痛い・つらい部分を温めるなどリラックスを！

アロマテラピー…植物の香りで心をときほぐす
 ストレスや不眠に悩んでいるときイライラした時
 (ラベンダー、カモミール、マジョラム)
精神的な疲れがあるとき
 (レモン、ペパーミント、ローズマリー)
自信をなくしたり落ち込んだときに
 (グレープフルーツ、ジャスミン)
情緒不安定なときに
 (ベルモット、ローズウッド)

憂鬱型

友人と華やかな場所で騒ぐ、飲み明かすといった解消法はその高揚した雰囲気によってかえって逆効果、基本は自然の中に身をおいたり、自分にプレゼントを買ったり1人になってリラックスを！

その他

ハーブティー…香り高い1杯で心を癒す
 気持ちが高ぶって眠れない夜に
 夏バテなどの疲労回復やビタミンCの補給に
 ラベンダー
鉄分などのミネラルやビタミンCの補給に
 ハイビスカス
リラックスしたいなら……ジャーマンカモミール
モーニングティーにうってつけ……ペパーミント

イライラ型

冷静になって気持ちをコントロールしようとする逆効果、思いきり体を動かしたり、スポーツ観戦や新聞などを破って即効性のストレス発散がいちばん！

専門部から活動状況が報告

恩納村学力向上対策実践発表

「知・徳・体の調和のとれた人間の育成」を目指して、これまでに推進してきた成果を発表しようと、村学力向上対策委員会(以下村学対と言う)の実践発表会が二月四日、恩納校でPTAや関係者が多く参加して開催されました。

開会式で主催者を代表してあいさつした村学対の伊波肇委員長は「これらの教育は、地域との連携が重要だと言われています。」と村内学校での地域と教育現場との連携をとおしての実践成果を例にあげていました。また、大城村長は激励のあいさつの中で「本校の教育は、人との交わり、人との出会い、自らの体験三つの学びの実践が優れている。」と関係者にこれまでの成果を激励しました。

その後舞台では、今年度県大会まで出場した児童生徒四名による童話、お話、意見発表も行なわれ村内の子どもの活躍を会場で村学対関係者に披露されました。



▲発表会ではこれまでの取り込みを報告

実践発表では、村学対事務局から活動経過等が発表された後、村学対の学校教育推進部会・検査調査評価部会・家庭地域教育の代表が活動状況を発表し、その後中頭教育委員事務所の森根功指導主事から講評が述べられました。発表会の行なわれた恩納校体育館内には、同校の児童生徒の図画や工作、また授業で作成された教材が展示され、学校教育の状況を確認できる実践発表にもなりました。

恩納村では

地域振興券 このように使われました。

平成11年3月25日に交付を開始した地域振興券の交付期間が、9月25日をもって終了しました。この間、交付対象者3,210人の99.7%にあたる3,201人の方に64,020千円を交付しました。

また、特定事業者における取り扱いも9月25日をもって終了し、最終換金日の12月27日で、すべての交付及び換金業務を終了しました。

最終的な換金額は、交付額の98.7%の63,215千円でした。

◎交付状況(交付率:99.7%)

	交付対象人数(金額)	交付済人数(金額)
人数	3,210人	3,201人
金額	(64,200千円)	(63,020千円)

◎使用状況

交付済金額(千円)	換金額(千円)	換金率(%)
64,020	63,215	98.7

◎業種別換金状況

業種	換金額(千円)	割合(%)
売店	19,706	31.2
給油所	13,353	21.1
商店(鮮魚店含)	8,215	13.0
コンビニエンスストア	5,939	9.4
飲食店	4,284	6.8
農協	3,914	6.2
観光施設(ゴルフ場合)	2,980	4.7
衣類販売店	1,599	2.5
薬局・歯科医院	1,375	2.2
理美容店	270	0.4
その他	1,580	2.5
合計	63,215	100.0



▲平成11年3月25日交付日初日
 (コミュニティセンター)



▲全校生徒が二胡と中国琵琶の公演



▲村長室でリコーダー五重奏も披露

すぐれた生の芸術を直接鑑賞してもらい芸術にふれる喜びを与えようと県、並びに村教育委員会共催による青少年劇場小公演「姜建華(ジャン・ジェンホウ)・楊宝元(ヤン・パオユエン)デュオコンサート」が二月十八日、山田校で開催されました。

二胡と中国琵琶の演奏を楽しむ
沖縄県青少年劇場小公演

「シルクロード悠久の響き」と題した公演では、二胡と中国琵琶の軽快な音楽からはじまり、演奏の合間に使用する楽器の説明や子どもの頃の話もありました。



▲小中の代表がそれぞれお礼を述べました

第十九回沖縄県リコーダーコンテスト(県リコーダー教育研究会主催)が二月十一日から十二日の二日間具志川市内で開催され、大会に出場し見事全国大会出場が決まった恩納校の生徒や先生が、二月十六日大城村長に大会での入賞と全国大会出場を報告しました。

リコーダー全国大会に恩納校が
第十九回県リコーダーコンテスト

奏したチームにきまり、三月二十八日に東京で開かれる全国大会への二年連続出場が決まりました。



▲全国大会での活躍を期待しますと村長激励



▲てきばきとプロの指導を受ける子ども達

読谷村でキャンプ中の中日ドラゴンズの二軍監督やコーチらの指導による少年野球教室が二月十三日、キャンプ地の読谷村営野球場で開催され、村内の五つの少年野球チームが参加しプロの直接指導を受けました。

元気づっぱいプロの指導を受ける
少年野球プロ野球教室

プロの指導を受けるとあって教室には、五チームから参加の子ども達がてきばきした動作や大声を出し、楽しみながら汗を流していました。また、指導したコーチ等からは、これからは野球をどんどん楽しんでもっと上手になれるようこれからも頑張ってください。と激励もありました。



▲これからは頑張ってくださいとプロから激励



▲元気な園児が協力して豆まき

寒さも吹き飛ばし元気に豆まき
恩納保育所で恒例の豆まき

節分の日の二月三日、恩納保育所で恒例の厄払いの豆まきが行なわれました。

鬼が園舎の中に入ると、これまで威勢よく豆を投げていた子どもも一斉に逃げ出し、先生のうしろや押し入れの中、また小さい子は机の下等で声をひそめ隠れていました。鬼に見つかつた途端大声で泣きだす子どももいました。



▲最後は鬼と拍手でさようなら

